

SC販売統計調査報告 2020年1月

既存SC前年同月比 : ▲1.3%

記録的暖冬の影響やバーゲン不振などで前年割れ

<全体概況>

・1月度の既存SC売上高は、記録的暖冬により衣料品を中心に冬物商品の動きが鈍く、バーゲンの不振や福袋の売上減などで年始商戦も厳しかったことなどから、総合で前年同月比▲1.3%と前年を下回る結果となった。大都市では、下旬からの新型コロナウイルスの影響によりインバウンド客の来館が減少したことも売上減につながったというSCも見られた。

・立地別・構成別(表1)をみると、テナント、キーテナントともに全ての立地で前年を下回った。特に、中都市・中心地域の百貨店をキーテナントとするSCの苦戦が目立ち、▲6.1%となった。

・立地別・地域別(表2)をみると、東北、九州・沖縄以外の7地域で前年比マイナスとなった。四国は前月に引き続き最もマイナス幅が大きく(▲3.4%)、厳しい状況が続いている。全国的にマイナスが目立つなか、東北はリニューアル効果により好調なSCなどが牽引し、中心、周辺ともにプラスとなった。

・都市規模別・地域別(表3)をみると、大都市では回答のあったSCの多くが前年を上回った千葉市(+2.8%)と仙台市(+2.4%)が好調であった。一方、前月▲8.1%と前年リニューアルの反動減などで落ち込んだ川崎市は今月は▲3.0%となり、回復傾向が見られた。その他の地域については、テナントが好調だった北海道と東北が前年を上回った。

・業種毎の販売動向をみると、月を通して気温が高く推移したことにより冬物商品が苦戦し、特に婦人衣料を不振と回答するSCが12月に引き続き多かった。一方、年末年始休暇は曜日並びにより9連休となった企業も多く、外食やアミューズメントなどの需要が多かったと考えられ、飲食やサービスを好調と回答したSCが多かった。

※調査サンプル数:494SC (回収率49.4%)

※本調査は、2018年12月末現在の全3,220SCの中から立地別・SC規模別に1,000SCをサンプル抽出し、集計・算出しています。

表-1 立地別・構成別 売上高伸長率

立地	SC数	総合	テナント	キーテナント
総合	494	▲1.3	▲1.0	▲2.6
地域中心	大都市	▲0.6	▲0.6	▲0.4
	中都市	▲1.9	▲1.2	▲6.1
	小計	138	▲1.0	▲0.8
周辺地域	356	▲1.5	▲1.1	▲2.7

(注)

■立地

中心地域:人口15万人以上の都市(東京23区を含む159都市)で、商業機能が集積した中心市街地
周辺地域:上記中心地域以外の全ての地域

■都市規模

大都市:札幌・仙台・千葉・東京区部・川崎・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州の各市
中都市:上記都市を除く人口15万人以上の都市

表-2 立地別・地域別 売上高伸長率

地域	総合	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州・沖縄	
総合	494	▲1.3	▲0.7	2.0	▲1.7	▲1.2	▲2.7	▲1.3	▲0.5	▲3.4	0.1
中心地域	138	▲1.0	▲2.8	0.2	▲1.0	▲1.7	1.4	▲0.4	▲4.2	▲4.3	0.7
周辺地域	356	▲1.5	3.2	2.7	▲2.1	▲1.1	▲4.3	▲1.6	0.7	▲3.2	▲0.3
(SC数)	494	16	30	204	57	28	88	27	12	32	

(注)

■地域

北海道:北海道
東北:青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
関東:茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県
北陸:新潟県・富山県・石川県・福井県
中部:長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県
近畿:滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県
中国:鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
四国:徳島県・香川県・愛媛県・高知県
九州・沖縄:福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

表-3 都市規模別・地域別
売上高伸長率

都 市	SC数	総 合	テナント	キーテナント	
総 合	494	▲ 1.3	▲ 1.0	▲ 2.6	
大 都 市	札 幌 市	11	▲ 1.4	▲ 1.4	-
	仙 台 市	5	2.4	2.4	-
	千 葉 市	6	2.8	2.8	-
	東 京 区 部	57	▲ 2.2	▲ 2.2	▲ 2.3
	横 浜 市	19	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 1.6
	川 崎 市	8	▲ 3.0	▲ 2.9	*
	名 古 屋 市	11	0.0	▲ 2.4	10.0
	京 都 市	6	▲ 2.0	▲ 2.9	▲ 0.4
	大 阪 市	20	0.0	▲ 0.1	1.1
	神 戸 市	17	0.8	1.1	▲ 1.0
	広 島 市	8	▲ 1.1	▲ 0.7	*
	北 九 州 市	2	*	*	*
	福 岡 市	8	0.3	0.5	*
	小 計	178	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 1.1
	そ の 他 の 地 域	北 海 道	5	2.3	2.9
東 北		25	1.8	4.1	▲ 3.4
関 東		114	▲ 1.8	▲ 1.4	▲ 3.6
中 部		46	▲ 1.6	▲ 1.5	▲ 1.7
北 陸		28	▲ 2.7	▲ 1.1	▲ 5.4
近 畿		45	▲ 2.5	▲ 1.7	▲ 4.9
中 国		19	▲ 0.3	0.0	▲ 1.1
四 国		12	▲ 3.4	▲ 3.5	▲ 3.2
九 州・沖 縄		22	▲ 0.9	▲ 0.7	▲ 1.3
小 計	316	▲ 1.6	▲ 1.1	▲ 3.4	

※「その他の地域」には、大都市は含まない。

* : サンプルが少数のため個別の値は公開していない。

表-4 キーテナント業態別
売上高伸長率

キー業態	SC数	%
総 合	494	▲ 1.3
核なし	280	▲ 1.1
1 核	Dpt	13 ▲ 2.8
	GMS	113 ▲ 1.4
	SM	38 ▲ 0.5
	SS	1 *
	HC	1 *
	専門店	5 ▲ 2.6
	生協	6 ▲ 1.6
	Dgs	2 *
	小 計	179 ▲ 1.8
	2 核	27 ▲ 0.9
	3 核 以上	8 0.4

* : サンプルが少数のため個別の値は公開していない。

表-5 立地別SC・テナント・キーテナント効率

立地(SC数)	売上高・店舗面積		売上高		店舗面積		1SC当り売上高 (千円)	坪効率 (千円)	1SC当り 平均面積 (㎡)
			(千円)	前年比	(実効㎡)	前年比			
SC総合	総合	494	577,318,684	▲ 1.3	9,925,498	▲ 0.1	1,168,661	192	20,092
	中心地域	138	180,461,536	▲ 1.0	1,967,252	0.9	1,307,692	303	14,255
	大都市	69	125,688,598	▲ 0.6	1,176,437	0.8	1,821,574	353	17,050
	中都市	69	54,772,938	▲ 1.9	790,816	1.0	793,811	229	11,461
	周辺地域	356	396,857,148	▲ 1.5	7,958,245	▲ 0.4	1,114,767	165	22,355
テナント	総合	494	467,708,271	▲ 1.0	7,341,283	▲ 0.1	946,778	210	14,861
	中心地域	138	157,848,581	▲ 0.8	1,739,198	0.9	1,143,830	300	12,603
	大都市	69	110,333,366	▲ 0.6	1,055,248	0.9	1,599,034	345	15,293
	中都市	69	47,515,215	▲ 1.2	683,951	1.1	688,626	229	9,912
	周辺地域	356	309,859,690	▲ 1.1	5,602,084	▲ 0.4	870,392	183	15,736
キーテナント	総合	214	109,610,413	▲ 2.6	2,584,215	▲ 0.4	512,198	140	12,076
	中心地域	22	22,612,955	▲ 2.3	228,054	0.1	1,027,862	327	10,366
	大都市	6	15,355,232	▲ 0.4	121,189	0.0	2,559,205	418	20,198
	中都市	16	7,257,723	▲ 6.1	106,865	0.3	453,608	224	6,679
	周辺地域	192	86,997,458	▲ 2.7	2,356,161	▲ 0.4	453,112	122	12,272

注: 売上高(総合)は、調査対象494SCの合計値です。

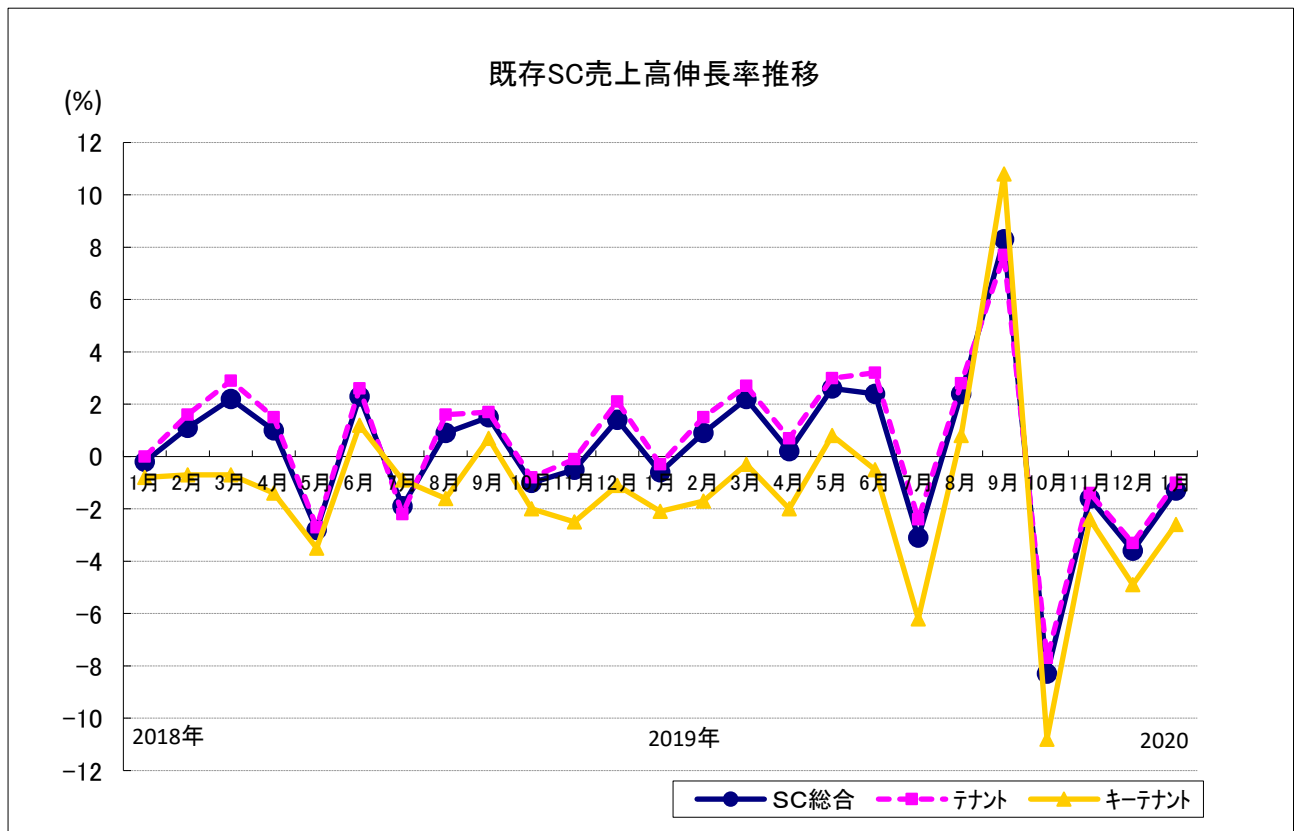


表-6 SC・百貨店・チェーンストア 売上高前年対比

		S C			百貨店	チェーン ストア
		既存SC				
		SC総合	テナント	キーテナント		
年別	00年	▲ 3.4	▲ 3.1	▲ 3.7	▲ 2.2	▲ 5.1
	01年	▲ 2.2	▲ 1.4	▲ 3.3	▲ 0.4	▲ 5.2
	02年	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.3	▲ 2.1
	03年	▲ 1.6	▲ 0.8	▲ 2.4	▲ 2.8	▲ 3.2
	04年	▲ 1.7	▲ 0.9	▲ 2.9	▲ 2.8	▲ 3.5
	05年	0.3	1.5	▲ 1.9	▲ 0.2	▲ 2.6
	06年	0.3	0.9	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 2.7
	07年	0.0	0.3	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 1.4
	08年	▲ 1.5	▲ 1.1	▲ 2.3	▲ 4.3	▲ 0.7
	09年	▲ 6.8	▲ 6.5	▲ 7.4	▲ 10.1	▲ 4.3
	10年	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 2.8	▲ 3.1	▲ 2.6
	11年	▲ 1.3	▲ 1.1	▲ 1.5	▲ 2.0	▲ 0.8
	12年	0.5	1.5	▲ 1.6	0.3	▲ 1.9
	13年	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 1.3	1.6	▲ 0.7
	14年	0.1	0.5	▲ 0.9	0.3	▲ 0.6
	15年	0.0	0.3	▲ 0.6	▲ 0.2	0.7
	16年	▲ 1.1	▲ 0.9	▲ 1.4	▲ 2.9	▲ 0.4
	17年	0.6	1.0	▲ 0.9	0.1	▲ 0.9
	18年	0.6	1.0	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 0.2
	19年	0.4	0.8	▲ 1.5	▲ 1.4	▲ 1.8
2018上半期	(1～6月)	0.7	1.1	▲ 0.8	0.0	▲ 0.3
2018下半期	(7～12月)	0.4	0.8	▲ 1.0	▲ 1.5	▲ 0.1
2019上半期	(1～6月)	1.3	1.7	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 1.3
2019下半期	(7～12月)	▲ 1.0	▲ 0.7	▲ 2.1	▲ 1.8	▲ 2.3
2018四半期別	(1～3月)	1.2	1.7	▲ 0.6	▲ 0.7	0.6
	(4～6月)	0.2	0.5	▲ 1.1	0.6	▲ 1.2
	(7～9月)	0.1	0.3	▲ 0.6	▲ 3.4	1.1
	(10～12月)	0.3	0.8	▲ 1.5	0.0	▲ 1.3
2019四半期別	(1～3月)	0.9	1.4	▲ 1.4	▲ 0.9	▲ 1.8
	(4～6月)	1.7	2.1	▲ 0.4	▲ 0.9	▲ 0.7
	(7～9月)	2.5	2.9	1.2	6.8	▲ 1.7
	(4～6月)	▲ 4.3	▲ 3.9	▲ 5.7	▲ 8.8	▲ 2.9
2018 月別	1月	▲ 0.2	0.0	▲ 0.8	▲ 1.2	0.6
	2月	1.1	1.6	▲ 0.7	▲ 0.9	1.3
	3月	2.2	2.9	▲ 0.7	0.1	▲ 0.1
	4月	1.0	1.5	▲ 1.4	0.7	▲ 1.2
	5月	▲ 2.8	▲ 2.7	▲ 3.5	▲ 2.0	▲ 2.3
	6月	2.3	2.6	1.2	3.1	0.1
	7月	▲ 1.9	▲ 2.2	▲ 0.9	▲ 6.1	1.5
	8月	0.9	1.6	▲ 1.6	▲ 0.2	0.1
	9月	1.5	1.7	0.7	▲ 3.0	1.9
	10月	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 2.0	1.6	▲ 0.7
	11月	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 2.5	▲ 0.6	▲ 2.5
	12月	1.4	2.1	▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 0.7
2019 月別	1月	▲ 0.6	▲ 0.3	▲ 2.1	▲ 2.9	▲ 3.4
	2月	0.9	1.5	▲ 1.7	0.4	▲ 2.5
	3月	2.2	2.7	▲ 0.3	0.1	0.5
	4月	0.2	0.7	▲ 2.0	▲ 1.1	▲ 1.0
	5月	2.6	3.0	0.8	▲ 0.8	▲ 0.7
	6月	2.4	3.2	▲ 0.5	▲ 0.9	▲ 0.7
	7月	▲ 3.1	▲ 2.4	▲ 6.2	▲ 2.9	▲ 7.1
	8月	2.4	2.8	0.8	2.3	▲ 0.3
	9月	8.3	7.7	10.8	23.1	2.8
	10月	▲ 8.3	▲ 7.7	▲ 10.8	▲ 17.5	▲ 4.1
	11月	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 2.4	▲ 6.0	▲ 1.4
	12月	▲ 3.6	▲ 3.3	▲ 4.9	▲ 5.0	▲ 3.3
2020 月別	1月	▲ 1.3	▲ 1.0	▲ 2.6	▲ 3.1	
出典	日本ショッピングセンター協会			百貨店協会	チェーンストア協会	